

背景・目的

平成24年9月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2012-2020」が平成32年（2020年）に対象期間を終えることから、目標達成状況の最終評価、我が国の生物多様性の状況の総合評価を行うとともに、次期国際目標及び国家戦略の策定に向けた検討を行う。また、生態系を活用した気候変動への適応や防災・減災を進め、社会の強靱性（レジリエンス）向上を図る。

事業概要

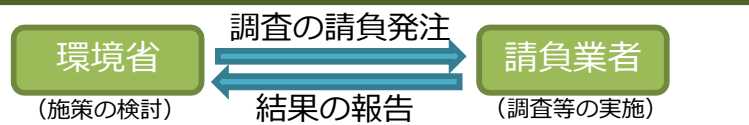
1. 国家戦略実施状況の点検・取組の加速
2. ポスト愛知目標及び次期生物多様性国家戦略の検討
3. 生態系を活用した手法による社会の強靱性の向上

事業目的・概要等

期待される効果

- 現状の的確な把握による課題抽出と、2020年以降の保全戦略の明確化による、生物多様性保全の取組の一層の充実・強化・加速
- 生物多様性保全と気候変動への適応の総合的解決

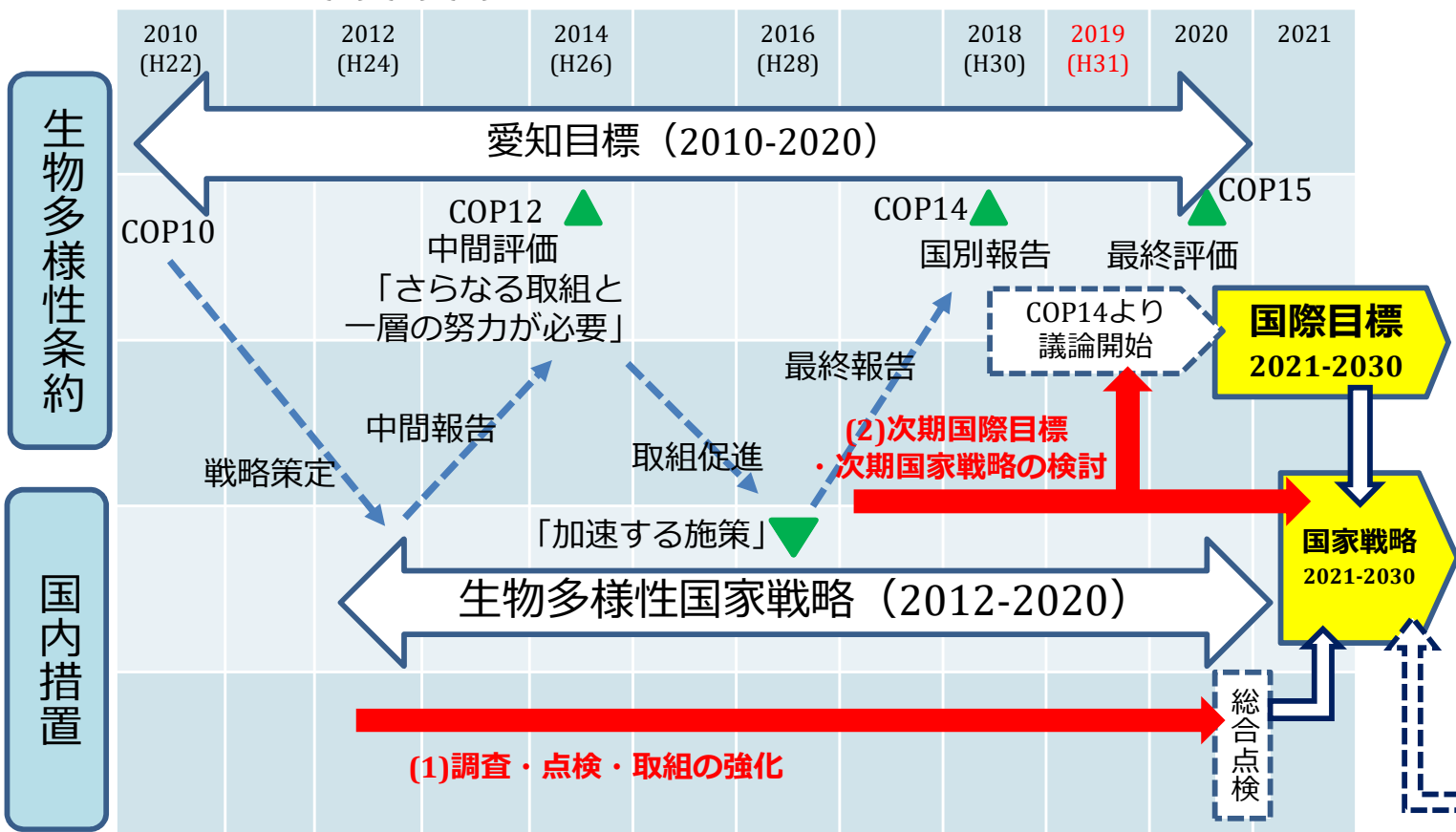
事業スキーム



(1)(2)(4) 生物多様性国家戦略の推進等

※赤字：2019年度の事業内容

イメージ



(3)生態系を活用した手法による社会の強靱性の向上 気候変動への適応等

■ 自然環境分野の適応

- ・ 具体的な地域を対象に試行実施
- ・ 適応策の実施のための手引き作成

■ 生態系を活用した適応等

生態系を活用した気候変動への適応（EbA）生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）について、既往研究や優良事例等を取りまとめ、考え方や実施にあたって踏まえるべき点を整理

各計画・制度への組み込み

社会実装